

令和4年度 文化財防災訓練等実施状況報告

都道府県名

兵庫県

行事名称	姫路城総合訓練（第69回文化財防火デー）
実施期間・日時	令和5年1月26日（木）7時45分～8時30分
実施場所	姫路市本町68番地 世界遺産 国宝姫路城
主催者	姫路市消防局

■実施内容

訓練の想定

午前8時45分頃、姫路城大天守3階から出火し、観光客数名が逃げ遅れている。また、火勢は上階へ延焼拡大中。路面が凍結して消防車両が近づけない。

訓練の内容

- (1) 自衛消防隊の初動体制の確立及び多言語メガホンを活用した避難誘導
- (2) 大規模建築物火災に対する防御体制の確立

参加者及び役割分担

- ・自衛消防隊（30名） 119番通報 初期消火 避難誘導 負傷者搬送
- ・消防局（83名） 指揮隊を中心とした適切な情報収集に基づく防御態勢の確立。
水利の確保及び連結送水管を使用した送水体制の構築。
- ・消防団（5人） 負傷者の搬送補助。
- ・警察機関（10人） 負傷者の搬送補助。

特に工夫した点

姫路城自衛消防隊、姫路市消防局と合同で実施。初動活動体制及び火災防御体制を確立するとともに、市民の文化財に対する防災意識の高揚を図った。また、路面凍結に伴い消防車両が近づけない想定で実施した。

問題点・課題

火災・地震による災害発生にあたり、観光客等の避難誘導・救出救助と国宝・重要文化財である建造物の保護との両立について、具体的なケースを想定して対応を検討することが今後必要だと考えられる。

その他

- ・毎年、総合訓練を姫路城自衛消防隊・姫路警察・姫路市消防局と合同で実施し初動体制の確立並びに市民の文化財に対する防火意識及び愛護思想の高揚を図る為に今後も継続して実施していきたい。

訓練風景

